

# あいち農産物生産流通レポート

平成25年6月号

情報サロン		
・愛知県キュウリ産地のための臭化メチル剤を用いない栽培マニュアルを策定	(農業総合試験場)	1
地域トピックス		
・鳳来の『梅花』と『うめ加工品』について	(新城設楽農林水産事務所)	2
東日本情報		
・西武ドーム(国際バラとガーデニングショウ)に、「花男子」が登場!	(東京事務所)	3
西日本情報		
・トマト黄化葉巻病の耐病性品種を開発	(農業総合試験場)	5
フラワーページ		
・愛知みなみ農協の首都圏における取組	(愛知みなみ農業協同組合花き部東京営業所 粕谷 孝太)	7
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		9
・名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し		10
花き		
・切花・鉢花の6月の見通し(県内市場)		22
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2013年3月)		26
関連指数		27

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

## 愛知県キュウリ産地のための 臭化メチル剤を用いない栽培マニュアルを策定

### はじめに

臭化メチル剤は、非常に効果の高い土壌消毒剤として、これまで多くの施設野菜に使用されてきました。しかし、臭化メチルがオゾン層破壊関連物質に指定されたことから、使用に規制がかかり、土壌消毒用途での使用は2013年から廃止となりました。

そこで、農業総合試験場では、従来、臭化メチル剤でしか防除できなかったキュウリ緑斑モザイク病の対策を中心とした栽培技術を開発し、マニュアルを作成しました。そのポイントを簡単に紹介します。

### 1 ウイルス診断

キュウリにはキュウリ緑斑モザイク病を始め、症状の似たウイルス病が多数あります。ウイルスの種類によって防除対策が異なるため、ウイルス診断が重要となります。そこで、RT-LAMP法による簡易なウイルス診断技術の開発を行いました。植物体だけでなく土壌診断も可能です。

### 2 土壌中の残さの腐熟促進

土壌伝染は、前作に罹病した株の残さが土中に分解されずに残って伝染源となり、新しく定植した苗に、根の傷などから感染しておこります。そのため、栽培終了後のキュウリ残さを根から抜き取って圃場外へ持ち出して処分し、土中に残った残根を腐熟させることにより、感染リスクが大幅に減少することが明らかとなりました。十分に腐熟させるために、夏場に10a当たり4tの牛ふん堆肥を入れ、よく耕起し、水分調整します。腐熟促進期間は3か月以上とします。

### 3 定植時の生分解性ポットの使用

定植時は、作業により根に細かい傷ができて感染しやすくなります。生分解性ポット（微生物により分解するポットで、ポットごと定植することができる）を使用することにより、汚染土壌からのキュウリ緑斑モザイクウイルス感染を軽減させることができます。

これらの技術を組み合わせることで、臭化メチル剤を使わない環境にやさしいキュウリ栽培が可能となりました。

この栽培マニュアルは農業総合試験場の病害虫研究室紹介ページ（<http://www.pref.aichi.jp/0000057489.html>）からダウンロードできます。

（この研究は「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」で実施しました。）



## 鳳来の『梅花』と『うめ加工品』について



新城市は、旧新城市・鳳来町・作手村が平成17年10月に合併して、早8年目を迎えます。鳳来地区は、県内有数の梅の産地です。青梅の市場出荷はもとより、様々な加工品の販売も盛んな「鳳来の梅」をご紹介します。

「南高梅」・「鶯宿梅」など約1,500本の梅が岩間を縫うように咲き薫る様はまさに桃源郷を思わせ、観光客やアマチュアカメラマンの人気を集めている海老地区の「川売(かおれ)の梅花」や、「梅の里」・「名号温泉うめの湯」として知られる「名号(みょうごう)地区」は「鳳来の梅」の産地です。毎年3月には「梅花まつり」(川売)、「梅宴まつり」(名号)も盛大に行われています。

出荷最盛期は6月中旬ごろで、出荷は豊橋市場の他、生協との契約販売やJA愛知東梅加工場が中心ですが、個々の農家も加工しています。

手塩にかけて育てた梅は用途によって品種を使い分け、7~8月にJA愛知東梅加工場で梅加工品の製造を行っています。

JAオリジナルの加工品は数多く、塩加減にこだわった人気の大・小粒の「梅漬け」、  
「干し梅」、健康食品の「梅エキス」、  
「梅ジャム」、  
「梅ピューレ」、  
「梅酒」等を管内の農産物直売所等で販売しています。

また、JAの助け合い組織「つくしんぼうの会」は、「うめポン酢」を製品化しました。ほのかな梅の香りと爽やかな酸味で、注目を集めています。

これから暑い夏がやってきます。健康増進に、和食・洋食のお供として、「鳳来の梅加工品」を「里山の恵み」として消費者の皆様にご紹介します。是非、こだわりの梅加工品をご賞味ください。

販売店舗は、

- ・ グリーンセンターしんしろ
- ・ こんたく長篠
- ・ JA愛知東管内Aコープ店
- ・ 「げんきの郷」(大府市)
- ・ 「刈谷ハイウェイオアシス」



## 西武ドーム（国際バラとガーデニングショウ） に、「花男子」が登場！

5月11日～16日の会期で西武ドームに於きまして、恒例の「第15回国際バラとガーデニングショウ」が行われましたので紹介します。



### ショウの全体概要

このショウは、世界のバラと美しいガーデニングを一堂に集めた国内最大規模の祭典で、今年は15年の節目として「恋するバラの15年」と題し、数十メートルにわたる「バラの回廊」の設置など、バラ愛好家だけでなく、家族連れで楽しめる展示内容になっていました。

#### 第15回国際バラとガーデニングショウ

会場	西武ドーム
主催	毎日新聞社、NHK、スポーツニッポン新聞社
後援	外務省、農林水産省、国土交通省、埼玉県ほか
協力	(財)日本花普及センター、(社)日本家庭園芸普及協会ほか

取材当日は、平日の火曜日（午前中）にも関わらず、溢れんばかりの人また人で、ものすごく賑わっていました。

会場内では、15周年特別企画として「オードリー・ヘップバーンが愛した庭」、「ターシャ・テューダー素足の庭」など大型の庭園の設置や、「バラとガーデニングコンテスト受賞者」の紹介など広い会場に所狭しと飾られていました。



バラの即売会



大賞受賞

また、全国各地から有名店舗が出店し、バラ、ガーデニング関連商品の即売会等が行われました。

### 「花贈る！男アガルッ！」花男子のパフォーマンス

今回の会場内のイベントスペース（ローズテラス）に於いて、切り花生産日本一の愛知県東三河地方で結成された、チーム「花男子」が関東の消費者に向けてパフォーマンスを披露しました。

まず、パフォーマーのケニーが一人で舞台登場！一青窈の「ハナミズキ」の曲に併せて、フラワーアレンジメント作りを披露。曲が流れている間に素晴らしいアレンジができ、観客も驚きの拍手が出ました。

### < 花男子 >

愛知県東三河発「日本一花を作る町は日本一花を贈る町にするプロジェクトとして、2011年に花を贈る文化を深めるために結成されたパフォーマンス集団

研修生を含め、30人で構成  
普段の職業は、花市場のセリ人、花屋さん、花き生産者等  
当日のパフォーマー  
ケニー、ケンタ、カッター、ラモ、(MCユウジ)

次に、パフォーマー4人でジェームス・ブラウンの「ゲロッパ？」に併せ、4人で、約10個のブーケを手際よく作成しました。彼等いわく、「今まで、イベント等で男性に話を伺うと約5人に4人は、女性に花束をあげたことがない。」とのことで、彼等は、そんな男性達へ花送りの習慣を身につけてもらうべく活動をしているとのことでした。男性が花を贈ることが「照れくさい」から「いいじゃん」、「かっこいい」に気持ちを変化させることが大切だそうで、合言葉は「花贈る！男アガルッ！」です。



花男子によるパフォーマンス

そこで、先ほど作ったブーケを会場に来ているカップルの中から実際に、男性から女性に一言こぼを添えてプレゼントをする「ブーケトス」のデモンストレーションが行われました。3組のカップル（夫婦）が選ばれ「ブーケトス」が行われ、どの組の奥さんも感激していました。その中でも3組中2組の旦那さんは奥さんに花を贈ったのは今日が初めてと言うことでしたが、「こんなに奥さんが喜んでくれるのであれば、今後も花を贈る習慣を身に付けたい。」とのことでした。



花男子から御婦人へアレンジプレゼント

花の生産地から消費拡大にむけた積極的な発信をすることにより、花を贈る習慣がもっと日本に根付いて、心豊かな生活ができる社会を作るための素晴らしい行事であり、これからもこのような取り組みの重要性は増していくと感じました。



結婚50年の夫婦、旦那から花束贈呈

## トマト黄化葉巻病の耐病性品種を開発

### 1 開発の背景

愛知県のトマトは、作付面積 530ha、収穫量 46,200t、産出額 147 億円(平成 23 年産)で、県内のほぼ全域で栽培されています。このうち、本県発祥であり、愛知の伝統野菜に選定されているファーストトマトは、作付面積 13.7ha(全国第 1 位)で、主に田原市で栽培されています。

本県のトマトは、さまざまな作型を組み合わせ、主に 11 月から翌年 6 月まで出荷されます。ファーストトマトは、春を彩る食材として、12 月から翌年 4 月まで収穫・出荷されており、県内を始め京浜市場を中心に根強い人気があります。

トマト黄化葉巻病とは、体長 0.8mm 程度の害虫タバココナジラミが媒介するウイルス病で、感染すると茎頂部が黄化して萎縮し、収量が激減します(写真 1)。愛知県内では、毎年被害が発生し、トマト産地では収量の減少が問題となっています。

本病による被害を軽減するために、タバココナジラミの防除が行われていますが、タバココナジラミは微小であるため、発生を確認するのが遅れたり、ごく少発生でも病原ウイルスである TYLCV (*Tomato yellow leaf curl virus*)を媒介することから、産地からは TYLCV に抵抗性を持ち、かつ、食味の良いトマト品種の開発が望まれていました。

そこで、愛知県農業総合試験場では、民間企業と共同して 2 つのタイプのトマト黄化葉巻病耐病性品種(感染しても病気の症状は出ない品種)を開発しました。

今後、本病の被害が大きい地域でこれらの品種を栽培することにより、トマトの安定生産・安定供給が期待されます。



写真 1 トマト黄化葉巻病の症状と病原ウイルス TYLCV を媒介するタバココナジラミ

### 2 「アイタキ 1 号」の開発

「桃太郎」を開発したタキイ種苗株式会社と共同で、トマト黄化葉巻病に耐病性を示す新品種「アイタキ 1 号」を開発し(写真 2)、平成 24 年 12 月に種苗法に基づく品種登録出願を行いました。

「アイタキ 1 号」の特徴としては、果実は、「桃太郎」の血を引いて食味や揃いが良く、果実の重さは 180 ~ 200g 程度、愛知県で広がっているイスラエルマイルド系

統のトマト黄化葉巻病に耐病性を示す、 トマト黄化葉巻病以外に、トマト葉かび病（*Cf9*）、萎凋病（レース1、レース2）、根腐萎凋病、タバコモザイクウイルス等、トマトの主要病害に抵抗性を示す、「ハウス桃太郎」より3～5日程度早く収穫でき、同等の収量が得られることが挙げられます。

タキイ種苗株式会社が平成25年6月頃から種子を販売する予定で、11月頃から果実が市場に出荷される見込みです。



写真2 「アイタキ1号」の着果状況と果実

### 3 「TYファースト」の開発

愛知県清須市に本社を置く愛三種苗株式会社と共同で、トマト黄化葉巻病に耐病性を示すファーストトマト新品種「TYファースト」を開発し（写真3）、平成25年3月に種苗法に基づく品種登録出願を行いました。

「TYファースト」の特徴としては、果実の先端がとがりやすいファーストトマトの特徴を保有、果実は、トマトらしい香りが強く、甘さと酸味のバランスがよく、食味は良好、従来のファーストトマトに比べて果実の揃いが良く、果実の重さは230g程度、愛知県で広がっているイスラエルマイルド系統のトマト黄化葉巻病に耐病性を示す、トマト黄化葉巻病以外に、萎凋病（レース1）、根腐萎凋病、タバコモザイクウイルスにも抵抗性を示すことが挙げられます。

愛三種苗株式会社が平成25年6月頃から種子を販売する予定で、12月頃から果実が市場に出荷される見込みです。



写真3 「TYファースト」の着果状況と果実

愛知みなみ農業協同組合花き部東京営業所  
粕谷 孝太

## 愛知みなみ農協の首都圏における取組

愛知みなみ農協では、平成13年から東京営業所を設置し、シェアのさらなる向上を目指して首都圏での活動をしています。今回は、その活動内容について紹介したいと思います。

### 産地と実需者との架け橋

産地と実需者の距離を縮めて、よりよい花き産地としていくため、首都圏市場へ頻繁に出向き、買参人や市場担当などの実需者の意見・要望を聞いてスピーディに産地へ繋げています。例えば荷造りの善し悪しについては、いろいろな要望があり、実際に現物を確認して素早く対応できるようにしています。これによりチャンスが広がるので柔軟な対応ができるようにしています。

また、販売対策として生産者自ら実需者と意見交換を年に数回の活動をしています。



花き市場での当JA産花きの展示

### 消費者に対する産地PR

当JAは全国有数の産地ではありますが、首都圏の消費者での知名度はあまり高くありません。そのため、当JAが取り扱う農畜産物を首都圏の消費者に広く知ってもらおうと花をはじめとして青果物や農産加工品の販売を集客の多い場所で行っています。これまでに青山にある国連大学前でのマルシェジャポンへの参加、今年からは行政（田原市）と一緒になって有楽町駅前のマルシェに毎月1回土曜日に参加し販促活動を行います。

また、小売店など花き市場に来所する実需者に対してのPRのため、市場内において品目・品種展示を行い当JAで栽培している花をアピールしています。



マルシェでの販売

## 展示会への出展

毎年1月下旬から2月はじめに行われる関東東海花の展覧会に輪菊を中心に多数出展し、消費者や花き関係者への認知度の向上を図っています。輪菊においては毎年品評会の入選上位のほとんどを当JAの出品物が占め、輪菊生産日本一の力を発揮しています。

## 市場調査

花き産地として、あいち経済連と協力して首都圏花き市場において市況収集し報告をしています。また、夜間到着する菊などの出荷物の夜間調査を行い、他産地を含めた出荷物・荷姿・品質をみて産地に対してフィードバックしています。

これらの取り組みで、愛知みなみの花の販売を伸ばしていきたいと思えます。

表1 愛知みなみ農協と首都圏6市場における花き品目別取扱額(千円)

	H24	H23	H22
輪菊	2,799,877	2,791,669	2,978,294
スプレーマム	929,787	939,280	924,869
バラ	172,861	174,621	188,361
カーネーション	97,320	100,577	93,170
アルストロメリア	309,102	305,673	301,393
グロリオサ	41,011	45,192	44,992
全体	4,349,958	4,357,012	4,531,079

表2 愛知みなみ農協と首都圏6市場における取扱額の前年度対比

	H24/H23	H23/H22	H22/H21
大田花き	103.0%	94.4%	104.7%
東日本板橋花き	95.3%	97.6%	99.0%
第一花き	95.6%	92.3%	93.1%
FAJ	103.0%	115.8%	86.0%
世田谷花き	97.6%	91.0%	95.7%
東京フラワーポート	99.7%	96.0%	100.7%
全体	99.7%	97.0%	97.8%
	4,684,768	4,697,744	4,841,372

# 愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

## 名古屋市中央卸売市場（品目：おおば）

	入 荷 量 ( t )		卸 売 価 格 ( 円 / kg )		前年の主な他産地 ( 上位 3 産地 )
		うち愛知産		うち愛知産	
2 4 年実績	2 2	2 0 ( 8 8 % )	2 , 5 0 0	2 , 5 0 9	愛知 ( 88 % ) 大分 ( 7 % ) 高知 ( 5 % )
2 5 年見通し	2 2	-	2 , 4 0 0	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>ほぼ愛知産で、主な産地は東三河地域。天候は良好で、生育も順調な見込み。震災以降、風評被害の影響で関東方面への出荷が増加したが、そういった状況もなくなり、愛知産の物量が増加した。                      入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>			<p>愛知は、他県と比べると若い生産者が多いものの、おおばは収穫してから出荷までの作業に3日ほど要するなど、手間がかかり、また体力もいるため、ヨウサイやわさび菜等に切り替える生産者もいる。                      夏はサラダやジュースでの需要が増加することを期待。また、チヂミなど、若者も好む調理法を宣伝するなど、工夫が求められる。</p>		

## 東京都中央卸売市場（品目：ハウスみかん）

	入 荷 量 ( t )		卸 売 価 格 ( 円 / kg )		前年の主な他産地 ( 上位 3 産地 )
		うち愛知産		うち愛知産	
2 4 年実績	6 1 6	1 0 9 ( 1 8 % )	9 6 2	1 , 0 1 7	佐 賀 ( 66 % ) 愛 知 ( 18 % ) 大 分 ( 7 % )
2 5 年見通し	6 3 0	-	1 , 0 1 0	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>佐賀を中心に愛知、大分から9割の入荷を占める。引き続きハウスみかんの加温面積は減少傾向。落葉果樹がやや不安定で、ハウスみかんの引き合いが強い。                      佐賀は当初遅れて気味だったが、前年をやや上回ってくる見込み。大分は加温を遅らせて75%ぐらいのペースで入荷。6月は少ない。愛知は出発が早かったが、これまでは計画通り。                      入荷量はわずかに増加、価格はやや上回る見込み。</p>			<p>ハウスみかんは5月から7月にかけてのギフト商材としての引き合いが強い。                      特に愛知産は、他産地よりも良食味で、品質も安定しており、果物専門店や量販店などからの信頼が高い。反面評価も厳しいので、出荷にあたってはこれまで以上に浮皮や着色などに注意して選果して欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し

名古屋市中央卸売市場

5月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	20年	32,995	222	218	228	219	愛知 25%
	21年	35,947	205	209	210	194	長野 17%
	22年	33,692	225	243	223	206	茨城 7%
	23年	32,261	228	229	222	223	長崎 6%
	24年	32,796	209	213	196	205	
	5ヵ年平均	33,538	218	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	33,100	204	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、長野からの入荷が中心となる。春先に乱高下した気温も落ち着き、全体的に生育状況は良好。 入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							
だいこん	20年	2,196	77	724	713	760	青森 45%
	21年	1,867	92	597	678	593	愛知 33%
	22年	1,956	83	616	605	735	北海道 12%
	23年	1,830	86	642	642	545	岐阜 4%
	24年	1,744	88	213	83	94	
	5ヵ年平均	1,919	85	569	556	560	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,800	85	80	90	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は青森、愛知が中心。愛知は播種の時期が遅れ、6月入荷のものが一部ある。青森、北海道は雪などの影響で成育は遅れている。岐阜の生育状況は平年に比べ5日ほど遅れており、6月中旬頃に、入荷の谷間が生じる見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
にんじん	20年	1,543	204	189	210	219	岐阜 51%
	21年	1,635	135	115	150	143	熊本 8%
	22年	1,516	157	146	159	174	愛知 8%
	23年	1,614	136	125	141	150	徳島 8%
	24年	1,200	165	150	163	191	
	5ヵ年平均	1,501	159	144	164	174	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,300	155	140	150	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は岐阜が中心。どの産地も生育は順調。徳島の残量は少なく、6月中下旬の入荷状況は不安定になる可能性がある。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

5月24日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	20年	127,808	238	235	242	238	千葉 18%
	21年	134,861	224	221	229	221	茨城 14%
	22年	130,336	232	256	225	214	長野 9%
	23年	126,782	233	232	229	237	群馬 7%
	24年	132,882	215	206	210	227	(愛知産比率 3%)
	5ヵ年平均	130,534	228	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	132,000	215	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>葉菜類の入荷は関東産地と長野、また果菜類、土物類は西南暖地からの入荷が中心となる。産地背景が変わる時期であるが各産地とも4月の低温の影響で遅れがあったが回復傾向にある。 入荷量は前年並が見込まれ、価格についても前年並が見込まれる。</p>							
だいこん	20年	8,458	72	64	80	74	青森 48%
	21年	7,737	89	83	89	97	千葉 35%
	22年	8,676	78	97	75	63	北海道 7%
	23年	8,455	84	75	78	100	栃木 3%
	24年	8,306	82	82	74	89	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	8,326	81	80	79	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	8,150	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森と千葉からの入荷が中心となる。千葉は出荷のピーク過ぎ徐々に減少していく。平年より切り上がりは早い見込み。今後増える青森若干生育に遅れがあるものの回復傾向。 入荷量は多かった前年をやや下回る見込み。価格は前年並の見込み。</p>							
にんじん	20年	6,262	218	236	204	211	千葉 75%
	21年	6,396	129	129	132	125	埼玉 12%
	22年	6,312	153	165	145	149	茨城 5%
	23年	7,044	117	130	114	108	中国 4%
	24年	6,381	148	147	147	150	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,479	152	161	148	149	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	6,400	130	125	130	135	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉からの入荷が中心となる。千葉は4月上旬の強風、その後の低温の影響でやや不作傾向。今後の青森、北海道も遅れ傾向から国産の品薄感広がる。輸入品も入ってくる。入荷量は少なかった前年並を見込み、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	20年	2,042	87	78	83	102	長野 84% 茨城 14% 愛知 1%
	21年	2,142	74	83	71	68	
	22年	2,159	74	88	79	57	
	23年	1,679	71	81	68	70	
	24年	1,712	58	64	47	73	
	5ヵ年平均	1,947	73	79	71	74	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	1,700	65	70	65	60		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地の中心は長野(松本・佐久)。5月下旬から量が増えてくる。加工品の需要の減退が心配である。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。							
キャベツ	20年	3,518	81	62	81	107	愛知 52% 茨城 29% 長野 10%
	21年	4,458	72	81	65	71	
	22年	3,789	87	116	87	65	
	23年	3,917	62	47	60	83	
	24年	4,612	62	70	58	62	
	5ヵ年平均	4,059	72	75	69	76	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	4,300	65	70	65	60		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知主体で、茨城、長野と続く。愛知の生育状況は良好で、順調な出荷が見込まれる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							
ほうれんそう	20年	294	540	477	632	520	岐阜 76% 長野 9% 茨城 9% 愛知 3%
	21年	310	508	522	510	491	
	22年	277	513	560	486	497	
	23年	235	573	530	610	580	
	24年	287	499	473	466	544	
	5ヵ年平均	281	525	511	539	524	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	280	520	500	500	550		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知はほぼ終了し、岐阜(高山)が中心となる。本来は5月中下旬のピークが、3月から4月の寒さの影響で、出荷が6月上旬に集中する見込み。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほう き さい	20年	5,280	66	52	59	87	長野 53%
	21年	6,378	58	62	57	55	茨城 32%
	22年	5,368	56	65	59	45	群馬 14%
	23年	5,856	55	47	57	60	山梨 1%
	24年	5,583	50	47	42	60	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均 25年見通し	5,600	57 50	55 50	55 50	61 50	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		茨城が終盤を迎え、長野、群馬の高冷地もの の入荷が増加する。長野、群馬ともに定植後も 気温が低めに推移したことから生育遅れとなっ ている。茨城は終盤だが量は潤沢にある。入荷 量は前年並を見込み、価格は業務需要が鈍いこ ともあり安かった前年並の見込み。					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は7月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～3月にピークを迎え、その後減少傾向にある。単価は7月～10月にかけて上昇傾向にあり、11月～12月にピークを迎え、その後減少傾向にある。</p>					
キ ヤ ベ ツ	20年	14,767	67	60	63	80	千葉 47%
	21年	17,218	63	63	60	65	茨城 20%
	22年	15,975	75	103	69	55	神奈川 8%
	23年	14,641	52	38	44	81	群馬 7%
	24年	16,975	55	57	50	58	(愛知産比率 7%)
	5ヵ年平均 25年見通し	15,915	62 55	64 55	57 55	68 55	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		関東産地からの入荷が中心。千葉は干ば つ、低温の影響で生育は遅れ気味、茨城は 中旬からピークで潤沢な出荷が見込まれ る。群馬は、生育初期に降霜があり平年作 よりやや不良との見方もある。入荷量は前 年をわずかに下回り、価格は安かった前年 並の見込み。					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は7月～10月にかけて増加傾向にあり、11月～12月にピークを迎え、その後減少傾向にある。単価は7月～10月にかけて上昇傾向にあり、11月～12月にピークを迎え、その後減少傾向にある。</p>					
ほう れ ん そ う	20年	1,616	405	393	419	403	群馬 34%
	21年	1,680	403	394	401	416	茨城 18%
	22年	1,673	405	441	380	394	岩手 15%
	23年	1,365	431	430	435	429	栃木 14%
	24年	1,453	391	366	362	447	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均 25年見通し	1,557	407 400	405 400	399 400	418 400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		関東産地に加え岩手からの入荷が本格化 してくる。関東産地は、低温の影響で遅れ 気味であったがここきて回復、下旬にな ると東北、高冷地産のウエイトが高まる。 入荷量はほぼ前年並となり、価格は前年 をやや上回る見込み。					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は7月～10月にかけて増加傾向にあり、11月～12月にピークを迎え、その後減少傾向にある。単価は7月～10月にかけて上昇傾向にあり、11月～12月にピークを迎え、その後減少傾向にある。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	20年	768	443	494	434	401	愛知 29%
	21年	901	403	450	389	373	大分 18%
	22年	829	426	479	426	377	鳥取 9%
	23年	726	373	429	365	354	茨城 9%
	24年	767	397	389	389	424	
	5カ年平均	798	409	449	401	386	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	780	380	360	380	400	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地の中心は愛知。鳥取は夏ねぎに移行していく。6月上旬は入荷量が少ないと思われる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。					
しそ	20年	1,580	171	201	184	139	長野 99%
	21年	1,824	126	145	131	106	愛知 1%
	22年	1,729	128	225	116	81	兵庫 0%
	23年	1,708	141	128	134	192	岐阜 0%
	24年	1,877	134	134	133	151	
	5カ年平均	1,744	139	165	139	134	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,700	140	140	130	150	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		兵庫、茨城は5月中旬に終了し、6月は長野中心となる。長野は、気温の上昇、適度な雨により、松本付近からの順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。					
きゅうり	20年	1,780	233	254	222	223	愛知 29%
	21年	1,876	202	211	212	175	埼玉 23%
	22年	1,836	229	258	181	242	長野 18%
	23年	1,647	307	355	255	327	群馬 12%
	24年	1,656	204	168	186	275	
	5カ年平均	1,759	234	248	211	246	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,650	210	200	180	250	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知、長野。関東からは埼玉、群馬が中心となる。各産地とも順調な生育が見込まれるが、6月下旬に入ると成り疲れが心配される。 入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに上回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	20年	4,353	367	437	339	320	茨城 65%
	21年	4,270	359	383	327	370	千葉 21%
	22年	4,210	333	383	317	297	中国 5%
	23年	4,625	270	320	247	241	埼玉 4%
	24年	4,314	287	286	283	290	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	4,354	322	362	303	304	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,350	280	270	280	290	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉からの入荷が中心となる。茨城の生育は順調で太りも良く中下旬に出荷のピークをむかえる。千葉も同様で作柄自体は問題なく、病気発生も少なく品質良好。</p> <p>入荷量は前年並で、価格についてもほぼ前年並となる見込み。</p>					
レタ	20年	7,147	158	183	166	130	長野 73%
	21年	8,159	118	130	120	104	群馬 19%
	22年	8,096	121	199	108	78	岩手 4%
	23年	7,671	133	162	126	116	茨城 3%
	24年	7,959	134	124	124	151	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,806	132	160	129	116	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	7,700	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野からの入荷が本格化する。長野は低温、凍霜害の影響で生育遅れも見られるが回復傾向である。若干、品質低下も散見される。群馬も同様の傾向で生育進度は1週間ほど遅れている。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は、ほぼ前年並が見込まれる。</p>					
きゅう	20年	6,901	229	248	223	218	埼玉 31%
	21年	7,485	210	222	224	182	群馬 17%
	22年	7,774	222	272	168	221	福島 12%
	23年	6,967	292	352	234	302	茨城 10%
	24年	7,465	192	153	172	256	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,318	228	249	204	236	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	7,400	210	210	210	210	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>埼玉、群馬、茨城に加え、福島からの入荷となる。埼玉はやや前倒しでの出荷となっているが平年並の出荷が期待できる。福島は定植時の低温によりやや遅れがみられるが回復傾向。入荷量は前年並となり、価格は前年を安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	20年	1,184	293	278	293	311	愛知 47%
	21年	1,358	269	280	298	224	熊本 28%
	22年	1,233	302	277	309	325	宮崎 12%
	23年	1,013	388	376	390	413	高知 7%
	24年	1,100	318	298	334	329	
す	5ヵ年平均	1,177	310	299	322	315	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,100	320	300	320	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は愛知、熊本中心。寒さで出荷が遅れているが、6月になればある程度は出てくる見込み。 需要の増加が見込まれるが、価格の変動はほぼないと思われる。 入荷量、価格ともに前年並みの見込み。</p>							
マ	20年	1,814	218	211	216	226	愛知 32%
	21年	1,857	232	245	227	225	熊本 30%
	22年	1,649	249	303	232	219	三重 17%
	23年	1,472	276	277	265	312	岐阜 11%
	24年	1,784	289	302	279	297	
ト	5ヵ年平均	1,715	252	266	243	254	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,700	250	240	240	270	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は愛知、熊本中心。各産地とも病害虫の発生もなく、入荷は順調。夏秋タイプは天候次第ではあるが、やや遅れる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
ミ	20年	319	524	515	519	538	愛知 41%
	21年	423	477	503	475	451	熊本 39%
	22年	383	510	541	496	493	北海道 8%
	23年	375	559	525	558	619	
	24年	467	545	560	479	570	
マト	5ヵ年平均	393	523	530	503	534	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	400	530	450	540	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は愛知、熊本を中心に、和歌山、北海道からの入荷となる。北海道からの入荷は天候の影響で遅れ気味である。愛知、熊本からの出荷量は、例年よりやや少ない見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	20年	4,661	346	343	335	362	高知 34%
	21年	4,875	305	348	326	251	福岡 17%
	22年	4,273	348	365	342	338	群馬 15%
	23年	3,672	436	424	419	465	茨城 7%
	24年	4,217	348	341	350	352	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,340	352	364	354	354	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,200	330	330	330		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、福岡に関東産地が加わる。高知、福岡は生育終盤で、作柄に問題なく順調な出荷が見込まれる。群馬も着果状態も良く、今後の天候次第ではあるが順調な出荷の見込み。 入荷量は前年並が見込まれ、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は7月～11月にかけて増加傾向にあり、12月～2月にかけて減少傾向にある。単価は7月～11月にかけて増加傾向にあり、12月～2月にかけて減少傾向にある。</p>					
ト マ ト	20年	8,249	248	238	254	249	栃木 20%
	21年	8,688	262	282	255	251	熊本 13%
	22年	9,081	266	349	253	218	愛知 13%
	23年	8,214	290	296	268	310	千葉 12%
	24年	9,401	308	320	292	309	(愛知産比率 13%)
	5ヵ年平均	8,727	275	297	264	267	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	9,400	270	270	270		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心で、本県からの入荷もある。栃木はやや小玉傾向であるが順調に生育、茨城は春先に低温傾向だったものの生育には影響は小さい。愛知、熊本ともに生育順調。前年に近い出荷が見込まれる。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は7月～11月にかけて増加傾向にあり、12月～2月にかけて減少傾向にある。単価は7月～11月にかけて増加傾向にあり、12月～2月にかけて減少傾向にある。</p>					
ミ ニ ト マ ト	20年	1,135	502	492	317	515	熊本 28%
	21年	1,321	450	452	449	449	愛知 24%
	22年	1,402	471	538	446	433	千葉 13%
	23年	1,328	520	473	510	597	宮崎 10%
	24年	1,741	511	523	468	538	(愛知産比率 24%)
	5ヵ年平均	1,385	492	496	438	506	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,700	470	470	470		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本が中心に、関東産地に加え東北産地からの入荷となる。各産地とも現況は順調な生育で現況、出荷のピークをむかえている。6月に入るとやや落ち着くものの潤沢な出荷が見込まれる。 入荷量は前年並が見込まれ、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は7月～11月にかけて増加傾向にあり、12月～2月にかけて減少傾向にある。単価は7月～11月にかけて増加傾向にあり、12月～2月にかけて減少傾向にある。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
ピーマン	20年	612	341	298	367	364	茨城 55%
	21年	630	298	263	344	292	宮崎 27%
	22年	575	318	336	364	262	高知 17%
	23年	553	385	468	393	374	
	24年	618	230	264	232	272	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	597	313	322	338	312	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	600	300	300	300	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		鹿兒島は5月で終了し、6月は茨城中心となる。6月上中旬の出荷量は順調であるが、下旬は成り疲れにより減少する見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。					
ばいしょ	20年	2,519	147	143	150	149	長崎 63%
	21年	2,702	160	153	167	163	静岡 21%
	22年	3,294	184	174	197	186	北海道 6%
	23年	2,959	183	213	173	145	
	24年	3,035	75	82	76	70	
いしょ	5カ年平均	2,902	150	153	153	143	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	3,000	110	110	110	110	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		鹿兒島は5月でほぼ終了し、6月は長崎中心となる。3L、2L、大玉は減少する見込み。静岡は生育は順調で、L玉中心、出荷量も増えてくる。 入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に上回る見込み。					
たまねぎ	20年	4,064	63	66	65	59	愛知 65%
	21年	4,821	75	78	77	67	兵庫 27%
	22年	3,973	86	95	81	81	中国 3%
	23年	3,886	63	63	64	64	徳島 2%
	24年	3,107	110	104	106	126	
ねぎ	5カ年平均	3,970	78	80	77	77	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	3,900	75	70	75	80	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地の中心は愛知、次いで兵庫。両県とも生育は順調であり、入荷も順調な見込み。 入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	20年	2,288	366	357	409	335	茨城 88%
	21年	2,366	307	331	330	253	高知 6%
	22年	2,342	333	427	362	239	宮崎 3%
	23年	2,116	378	480	307	367	岩手 2%
	24年	2,531	209	221	194	210	(愛知産比率 0%)
マン	5ヵ年平均	2,329	315	363	320	281	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,500	250	250	250	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地が終了し、茨城からの入荷が中心となる。茨城は春ピーマンは作柄順調、温室ピーマンは冬期の寒さが厳しく若干少なめの予想も総体では前年並の出荷。入荷量は前年並を見込み、価格は安値で推移した前年を大幅に上回るものの平年比安の見込み。</p>					
ばれいしょ	20年	7,374	147	148	145	147	長崎 46%
	21年	7,877	160	161	161	158	静岡 16%
	22年	8,517	198	211	194	186	熊本 9%
	23年	8,306	178	205	172	146	鹿児島 6%
	24年	9,934	85	90	82	84	(愛知産比率 0%)
いしょ	5ヵ年平均	8,402	151	163	151	144	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	9,500	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長崎や静岡からの入荷が中心。各産地ともに豊作型の昨年ほどではないが生育は順調にきている。量的には少ないが近在物でやや低温の影響を受けたものも散見される。 入荷量はやや前年を下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	20年	11,235	84	86	83	81	佐賀 43%
	21年	10,942	95	92	92	103	兵庫 14%
	22年	10,878	98	96	96	102	香川 12%
	23年	11,472	70	63	71	77	中国 6%
	24年	9,499	118	108	113	136	(愛知産比率 2%)
ねぎ	5ヵ年平均	10,805	92	89	91	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	10,500	75	70	75	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>佐賀からの入荷が中心となる。佐賀は昨年は小玉傾向で量的にも少なかったが今年は比較的順調な生育で平年作に回復する見込み。他産地も大きな減込みはない見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

「その他メロン」は「アールスメロン」以外のメロンをいう。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	20年	10,549	342	332	338	356	フィリピン 25%
	21年	11,280	316	306	308	335	愛知 19%
	22年	9,487	344	327	360	347	熊本 16%
	23年	9,486	334	323	339	361	アメリカ(合) 7%
	24年	9,381	337	347	353	349	
	5カ年平均	10,037	334	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	8,500	330	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知・熊本中心。重油高の影響で、加温タイプのは厳しい傾向。ハウスみかんは6月下旬から7月上旬がピークとなるが、入荷量は前年を下回る見込み。ももは小玉傾向で、着果の良好・不良が両極端である。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。							
その他メロン	20年	1,340	267	312	285	278	熊本 33%
	21年	1,558	237	253	255	266	茨城 25%
	22年	1,169	315	380	345	269	愛知 24%
	23年	1,059	281	291	280	299	メキシコ 12%
	24年	1,165	287	307	286	282	
	5カ年平均	1,258	275	306	288	278	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,000	280	280	280	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は熊本、茨城、愛知が中心。全体的に作柄は良好。作付面積は5～10%減少している。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。							
すいか	20年	2,024	164	176	167	150	愛知 58%
	21年	2,370	156	180	156	136	熊本 32%
	22年	1,705	195	216	215	191	鳥取 6%
	23年	1,947	172	193	182	176	石川 3%
	24年	2,121	180	206	198	172	
	5カ年平均	2,033	172	193	182	163	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,900	170	180	170	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、熊本が中心。出荷は前倒し傾向であり、石川の出荷が始まる前に多少切れ間ができるものの、石川が出始めると、一気にピークを迎える。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	20年	32,636	382	371	392	381	茨城 19%
	21年	37,774	341	318	346	357	フィリピン 14%
	22年	31,851	373	362	383	375	千葉 14%
	23年	31,506	354	320	358	380	熊本 12%
	24年	30,172	376	354	379	389	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	32,788	364	-	-	-	前年及び本年の
計	25年見通し	30,800	395	-	-	-	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>すいか類、メロン類中心におとう、ぶどう、ハウスみかん等が入荷する。おとうは主力の山形(露地もの)の生育が2、3日遅れているが、中旬から出荷量が増えてくる。ぶどうは厳冬期の低温と燃料高騰による加温不足で生育遅れの状況にあるが、その後は順調で平年並みに入荷する見込み。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
その他	20年	4,973	342	382	340	308	茨城 82%
	21年	6,804	274	281	274	265	千葉 8%
	22年	4,768	371	442	389	311	熊本 6%
	23年	4,862	336	350	329	326	北海道 1%
	24年	5,040	323	338	344	306	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	5,289	325	356	327	299	前年及び本年の
メロン	25年見通し	5,100	350	360	350	340	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城中心の入荷。茨城は低温の影響で5月は入荷量が少なく、高値が続いたが、6月に入ると順調な入荷になる。クインシーは6月中下旬、アンデスは6月上旬がピーク。貴味メロンは6月中下旬がピーク。数量は、前年並みであるが、価格は前年をかなり回る見込み。</p>					
すいか	20年	9,591	181	204	186	159	千葉 40%
	21年	10,217	162	147	166	178	熊本 27%
	22年	8,926	221	237	228	207	茨城 17%
	23年	8,778	183	184	184	182	鳥取 8%
	24年	9,042	187	212	193	168	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	9,311	186	196	191	178	前年及び本年の
かい	25年見通し	9,400	190	210	200	180	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を中心に熊本、鳥取、茨城から入荷。4月の低温の影響で着果不良が一部であった。千葉は晩霜の影響で秀品率がやや悪いが数量はでる見込み。熊本は前進気味。茨城は交配がうまくいかない時期があり、やや数量はやや減る見込み。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並み。</p>					

# 切花・鉢花の6月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 5月28日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実績	20年	2,772	24	
		21年	2,416	43	
		22年	1,896	59	
		23年	1,956	45	
		24年	2,269	31	
	5ヶ年平均	2,262	39		
25年見通し	2,250	35			
概要	<p>愛知、三重、長野から入荷。昨年は低温による長野産に遅れがあったが、平年並みの出荷となる。比較的暑い日も多く、夏秋タイプの品質も低下するため、月中には夏菊中心に切り替わる。一時的に少ない時期もあるが、精の一世の作付は増えており下旬には安定出荷となる。</p>				
小 ぎ く	実績	20年	1,577	18	
		21年	1,353	32	
		22年	912	36	
		23年	1,152	32	
		24年	1,387	22	
	5ヶ年平均	1,276	27		
25年見通し	1,400	25			
概要	<p>沖縄産の出荷も終わり、愛知、奈良産中心に切り替わる。4月の寒さの影響から出始めはやや短めの物が多かったが、生育は順調で順次ボリュームは乗ってくる。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	20年	1,099	37	
		21年	1,070	41	
		22年	1,047	38	
		23年	1,198	37	
		24年	1,109	32	
	5ヶ年平均	1,105	37		
25年見通し	1,100	35			
概要	<p>長野を中心に岐阜、愛知などから入荷。今年は母の日直前が急に寒くなり、特にスプレーは後ろにずれた暖地物がまだまだ残っているが、品質的に長野産の引き合いが強い。後半は出荷量が増え、厳しくなる。</p>				
か す み そ う	実績	20年	161	71	
		21年	139	78	
		22年	134	67	
		23年	126	75	
		24年	136	63	
	5ヶ年平均	139	71		
25年見通し	135	65			
概要	<p>長野、北海道等高冷地産が増えてくる。暖地産は中旬辺りまで出荷がありそう。業務中心に動き、数量は少ないが価格は高くなさそう。</p>				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	20年	457	128	
		21年	427	139	
		22年	337	154	
		23年	410	140	
		24年	410	127	
	5ヶ年平均		408	137	
	25年見通し		410	130	
概要	<p>オリエンタルは新潟から入荷が増え、暖地産は下旬まで出荷がある。前半は数量も多そうで販売に苦労しそう。産地間で価格差がでるが、中旬以降は入荷も減り、相場安定。LA、鉄砲は少なめの入荷。昨年より気温が高く、集中出荷される展開も考えられ、中旬までは相場の変動が激しい。</p>				
洋 ら ん	実績	20年	347	78	
		21年	287	92	
		22年	321	81	
		23年	374	81	
		24年	364	79	
	5ヶ年平均		339	82	
	25年見通し		365	80	
概要	<p>鹿児島、愛知、静岡、輸入物が入荷。国内産のシンビジウムは出荷が減り、輸入物に切り替わる。さらに梅雨時期に入るため、入荷量が不安定になることが予想される</p>				
ば ら	実績	20年	1,115	46	
		21年	1,107	50	
		22年	1,045	48	
		23年	954	53	
		24年	923	54	
	5ヶ年平均		1,029	50	
	25年見通し		1,000	50	
概要	<p>愛知、三重、岐阜、和歌山、長野から入荷。産地により冷房が入ったり、株休めのための剪定、改植に入る時期で入荷量は落ち着く。中旬には父の日需要が見込め、各週末の日柄も悪くないので、ブライダル等の動きもいいと思われる。</p>				
枝 も の	実績	20年	1,220	43	
		21年	1,242	43	
		22年	1,458	36	
		23年	1,479	40	
		24年	1,534	39	
	5ヶ年平均		1,387	40	
	25年見通し		1,500	40	
概要	<p>岐阜、長野を中心として入荷。新芽も落ち着き、樅、榊の出荷量も増え、単価は落ち着く。気温も高くなり、天候次第で入荷量は増減するが品数も増え、相場は軟調さみ。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	20年	23,173	1,088	
		21年	25,243	997	
		22年	15,570	967	
		23年	19,878	982	
		24年	22,302	1,034	
	5ヶ年平均		21,233	1,017	
	25年見通し		22,000	1,000	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。メインは6号、4号。10号、8号は少なめ。品種はピンクチャンピオン、ダコタが中心となる。</p> <p>昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知県(98.4%)、2位静岡県(1.0%)、3位三重県(0.6%)となっている。</p>				
フ ア レ ノ プ シ	実 績	20年	25,642	3,106	
		21年	28,794	2,706	
		22年	23,846	2,654	
		23年	25,948	2,942	
		24年	21,785	3,037	
	5ヶ年平均		25,203	2,889	
	25年見通し		21,000	2,857	
概要	<p>入荷量は減少か。母の日シーズン後のため、ミディー系は非常に少なくなる予想。ただし、大輪系は昨年と同じくらいの数量と思われる。梅雨の時期になるので、花シミに注意していただきながらの出荷を望む。</p> <p>昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知県(58.4%)、2位宮崎県(8.0%)、3位静岡県(7.6%)となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	20年	30,567	165	
		21年	38,145	202	
		22年	26,970	184	
		23年	28,771	155	
		24年	22,542	225	
	5ヶ年平均		29,399	185	
	25年見通し		22,000	227	
概要	<p>入荷量は平年並みか。中大輪系の変り色、かおりの有る品種に人気集中しそう。通常の品種は安値になりそう。</p> <p>昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜県(77.6%)、2位愛知県(10.9%)、3位山口県(5.6%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイ ド ラ ジ ニア	実績	20年	38,313	456	
		21年	45,729	392	
		22年	34,524	545	
		23年	34,524	545	
		24年	47,455	405	
	5ヶ年平均		37,857	440	
	25年見通し		40,000	475	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。昨年と同様、青が多い。また、白も多め。6号はほぼ無し。また夏色・秋色も入荷有り。</p> <p>昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知県(73.6%)、2位群馬県(6.3%)、3位埼玉県(5.2%)となっている。</p>				
ス パ テ イ フ ィ ラ ム	実績	20年	20,913	250	
		21年	23,194	266	
		22年	23,770	235	
		23年	17,880	299	
		24年	17,869	306	
	5ヶ年平均		20,725	268	
	25年見通し		22,000	227	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。今年も5号以上は減少、3～4号にシフトしている。単価面でも安定している。</p> <p>昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知県(46.9%)、2位三重県(40.2%)、3位岐阜県(12.4%)となっている。</p>				
ド ラ セ ナ 類	実績	20年	54,542	686	
		21年	58,131	562	
		22年	31,960	648	
		23年	40,127	649	
		24年	42,796	702	
	5ヶ年平均		45,511	646	
	25年見通し		43,000	700	
概要	<p>入荷量は増加か。昨年同様、愛知県の入荷が多くなる見込み。全体の入荷は、台風の影響があるため沖縄の入荷が減少すると思われる。大鉢サイズより小鉢中鉢中心の入荷になると思われる。</p> <p>昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知県(64.9%)、2位沖縄県(15.3%)、3位岐阜県(5.7%)となっている。</p>				

# 主要農林水産物の輸出入実績(2013年)

## 1 輸入実績

品名	3月						3月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	82,458	80.2	9,217,789	99.3	112	123.7	211,055	125	25,111,960	168	119	134.6
トマト	527	118.2	208,754	128.3	396	108.5	1,473	1	587,889	6	399	435.2
たまねぎ	21,647	61.1	1,633,575	130.8	75	214.0	59,767	101	4,353,174	217	73	214.8
にんにく	1,326	68.6	286,743	133.4	216	194.5	4,114	11	848,805	54	206	508.1
ねぎ	3,927	80.2	438,469	65.6	112	81.9	12,831	124	1,399,801	130	109	105.1
ブロッコリー	2,011	47.8	367,356	62.1	183	129.9	8,108	59	1,451,043	73	179	123.8
結球キャベツ	3,613	49.4	135,339	50.3	37	101.8	10,684	72	422,200	46	40	64.4
にんじん・かぶ	8,185	73.5	484,331	94.2	59	128.2	18,310	176	1,021,559	159	56	90.3
ごぼう	2,899	68.1	140,990	61.3	49	89.9	9,837	53	470,441	53	48	101.6
えんどう	218	55.7	69,367	40.2	319	72.2	734	15	253,114	61	345	399.8
アスパラガス	2,025	61.1	927,057	74.6	458	122.2	4,597	91	2,488,256	114	541	124.6
まつたけ	-	-	-	-	-	-	2	-	4,797	-	2,866	-
しいたけ	285	45.0	93,287	53.1	328	118.0	1,566	128	508,554	103	325	80.6
かぼちゃ	23,203	121.4	1,618,281	133.2	70	109.8	48,500	122	3,547,905	142	73	117.2
果実(生鮮・乾燥)	149,455	81.2	19,106,799	100.9	129	124.3	401,495	137	51,367,985	179	128	130.6
バナナ	75,054	79.3	5,887,437	95.5	78	120.3	218,177	64	15,976,728	58	73	90.4
パイナップル	13,617	89.2	751,132	85.0	55	95.3	36,965	32	2,012,237	27	54	85.9
レモン	3,038	79.8	380,704	96.9	125	121.5	10,311	43	1,278,390	67	124	156.9
オレンジ	14,369	78.3	1,528,604	89.5	106	114.2	30,301	134	3,296,585	159	109	118.5
グレープフルーツ	14,532	59.0	1,697,457	73.2	117	124.0	35,584	70	4,086,584	87	115	124.3
メロン	3,993	135.4	422,712	111.6	106	82.4	9,080	34	958,731	37	106	109.6
ぶどう	2,993	99.9	680,756	128.5	227	128.5	4,840	102	1,124,246	106	232	104.3
キウイ	123	19.7	32,591	26.0	265	132.3	619	18	150,732	24	244	138.4
いちご	12	48.2	10,545	62.8	885	130.4	30	5	28,146	19	926	405.5
切花(生鮮・乾燥)	6,032	100.6	4,474,363	105.8	742	105.1	12,466	202	9,650,597	206	774	101.8
鳥獣肉類	137,672	101.4	64,906,744	105.8	471	104.3	407,852	132	186,536,960	141	457	106.4
牛肉(くず肉含む)	40,472	108.1	20,167,316	123.9	498	114.6	105,733	50	51,449,157	56	487	113.0
豚肉(くず肉含む)	59,573	90.4	31,371,260	90.6	527	100.3	179,594	106	94,498,624	110	526	104.3
鶏肉	30,929	119.5	8,313,850	130.0	269	108.8	103,989	71	27,000,956	48	260	68.2
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	118,307	77.8	73,091,400	89.2	618	114.8	391,210	124	217,166,902	133	555	107.1
まぐろ類	20,405	101.0	20,298,426	113.2	995	112.1	54,045	29	46,401,259	41	859	141.6
さば・さんま・あじ・いわし	4,156	42.6	781,623	42.8	188	100.3	25,013	55	4,337,639	19	173	35.2

## 2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	1,115	172.9	395,264	121.8	355	70.4	7,430	413	2,713,581	291	365	70.5
うんしゅうみかん	22	99.0	11,488	87.4	513	88.3	137	124	68,125	105	496	84.7
りんご	1,060	179.0	330,329	123.5	312	69.0	7,030	450	2,352,948	347	335	77.1
なし	0	15.8	239	17.0	542	107.7	458	5,351	9,005	227	20	4.2
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	196,126	75.0	-	-	-	-	616,395	110	-	-
緑茶	239	122.9	562,001	121.4	2,347	98.8	585	128	1,377,361	146	2,356	114.0

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

# 関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 <span style="font-size: small;">(全国 平成22年 = 100)</span> <span style="font-size: x-small;">(愛知県 平成22年 = 100)</span>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	23年平均	99.7	96.8	100.6	99.9	100.4
	24年11月	99.2	88.0	90.8	98.3	100.2
	12月	99.3	92.8	98.5	98.2	100.7
	25年 1月	99.3	105.4	112.6	98.3	101.0
	2月	99.2	95.8	106.1	98.5	99.0
	3月	99.4	90.2	104.2	98.2	99.5
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	24年11月	99.0	91.1	92.0	95.5	100.5
	12月	99.1	94.8	100.5	95.1	101.3
	25年 1月	99.0	106.2	118.5	98.5	100.0
	2月	98.8	96.5	107.8	98.6	98.4
	3月	99.1	89.7	108.9	99.0	100.4

項目 年月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	23年平均	97.6	93.3	95.3	99.9	101.9
	24年11月	97.6	112.8	87.8	86.8	101.3
	12月	110.6	114.0	123.5	106.7	104.5
	25年 1月	110.5	114.2	124.9	108.3	101.2
	2月	104.1	114.3	101.5	109.4	102.0
	3月	100.9	114.1	92.8	100.0	103.3

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
23年平均	1,872	148	188	665	432	342	148	352	242	542	603	172	490
24年11月	2,209	88	122	585	364	284	128	298	208	584	759	174	437
12月	2,191	104	128	553	566	247	130	302	198	644	706	158	442
25年 1月	2,191	149	155	684	802	273	156	314	208	765	693	211	476
2月	2,151	147	169	559	729	296	159	327	211	564	595	173	449
3月	2,158	146	170	525	458	272	144	362	199	447	703	167	466
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g					
23年平均	552	286	376	146	223	771	540	151	164	299	222	818	416
24年11月	529	288	334		211	818	528	149	167	296	211	776	398
12月	492	305	344	207	206	831	529	145	172	316	224	730	400
25年 1月	630	329	370	187	209	755	531	154	175	314	217	824	378
2月	564	325	347	158	209	800	520	147	173	308	218	864	383
3月	571	314	350	156	222	801	514	155	174	327	213	844	407

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



## いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 480  
平成25年6月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6421